

## 教 授 会 議 事 録

日 時：平成 17 年 11 月 8 日（火）午後 3 時 15 分から午後 4 時 37 分

場 所：電気通信研究所大会議室

出席者：議長（所長）他教授 22 名、助教授 14 名

議事に先立ち、議長から、11 月 1 日付け採用の助手の紹介があった。

### 議事録の確認

平成 17 年 10 月 11 日（火）開催の定例教授会議事録について、原案のとおり承認した。

## I. 報告事項

### 1. 学内外諸会議等報告

#### (1) 部局長連絡会議

- ① 平成 17 年度傾斜配分方針について、研究科長等裁量経費の 10%を留保し、留保している財源のうち、70%を全部局に還元し、残りの 30%について、科研費の申請率、DC 充足率により傾斜配分を行うことの説明があったこと。
- ② 「新たな全学教育に向けての科目編成に関する調査」を実施すること。なお、平成 17 年度退職予定教員等については、提出不要であるが、その他の教員については全員提出してほしい旨依頼があった。

#### (2) 第 50 回国立大学附置研究所長会議第一部会

特別教育研究経費に関して文部科学省から説明があったが、新たに追加すべき情報は無かったこと。

#### (3) 研究所長会議

- ① 片平まつりの実施時期について審議し、100 周年記念事業の一環として平成 19 年 7 月に、世話部局を多元研として行うこと及び、次回開催については、平成 21 年度であることが決定したこと。
- ② 研究所連携プロジェクトについて、今年度で第 1 期が終了し、平成 18 年度から第 2 期を開始するが、プロジェクトの内容については約半数を新規のプロジェクトと入れ替えることとしたこと。
- ③ 国際高等研究教育機構構想（21 世紀 COE 等）について、意見交換したこと。

#### (4) 財務戦略会議・人事戦略会議合同会議

平成 17・18 年度の教員人件費については、部局それぞれの実績単価で渡し切りで配分すること。平成 19 年度以降の配分方法については、今後検討すること。

このことに関連し、議長から、通研の教員人件費の剰余分については、使用方法を検討中であることの付言があった。

#### (5) 入試実施委員会

大学入試センター試験にリスニングが導入されることから、予行演習を 2 回実施するので試験監督に当たっている教員には出席願いたいこと。

#### (6) 男女共同参画委員会

- ① 平成 17 年 11 月 26 日に仙台国際センターを会場に、男女共同参画シンポジウムを開催するので参加願いたいこと。
- ② 11 月末から 12 月初めにかけて、育児休業に関するアンケートを行うので、協力願いたいこと。

### 2. 運営会議等報告

#### (1) 研究企画戦略室

- ① 平成 18 年度科研費の応募状況について、平成 17 年度は継続 31 件、新規 56 件、合計 87 件であったが、平成 18 年度は継続 27 件、新規 62 件、合計 89 件であったこと。

- ② 情報通信研究機構（NICT）との研究交流会を、テーマを「ソフトウェアのセキュリティ」とし、平成 18 年 1 月 11 日に仙台を会場に行うこと。なお、世話人は、先端音情報システム研究分野教授で、詳細については今後検討すること。

(2) 安全衛生委員会

- ① 安全衛生管理者が巡視した結果、消火器のラベルが一部古くなり見えにくくなっているため、更新することとしたこと。
- ② W 棟東側 3 階の避難具（オリロー）の設置場所が建物の外でわかりにくいので、移動も含めて検討していること。このことに関連して、避難具・消火器の設置場所がわかるように、配置図を作成することとしたこと。
- ③ 地震対策用ヘルメットの過不足を各研究室に調査依頼し、再配分すること。
- ④ 作業環境測定について、関係研究室には周知済であるが、実施に際しては協力願いたいこと。
- ⑤ 高圧ガスボンベについて、取引業者から借用したままのものが古くなり、放置されて古くなったものは錆びて危険であるため、返却する必要があること。確認のため、各研究室に調査を依頼することとし、報告のないボンベについては、安全管理上問題があるので処分することとしたこと。
- ⑥ 薬品管理のシステムについて、各研究室の取扱いを危険物取扱主任者を中心に検討し作成したので、実施について協力願いたいこと。

また、研究室の「薬品保有状況報告書」については、火災発生時の消火活動に備えて各部屋に掲示することとしたこと。

- ⑦ アスベスト調査に関して、各研究室で調査したほかに、設計図書に基づき施設部で把握している部分について行った結果、通研では電気室及び低温サブセンター天井にアスベストが使用されていることが判明し、対策を早急にする必要があるが、日常的に使用しているため対応が非常に難しいこと。施設部には、現状での空気中のアスベスト濃度の測定をお願いしており、対策については、施設部と相談しながら進めていきたいこと。
- ⑧ 法人化後は、実験等で事故が起こった場合は、刑事責任を問われるので、十分気をつけてほしいこと。なお、注意喚起のため資料を配付したこと。

(3) 東京フォーラム実行委員会

実行委員会委員長から、準備は順調に進んでいること。現在、先端技術セミナー 3 コース合わせて 233 名の申込があり、各コース定員 50 名と考えていたが、出来る限り抽選せずに全員出席できるように広い会場に変更するなどの対策を取ったことの報告及び、下記のことについて依頼があった。

- ① 各研究室の説明要員の旅費については、研究室で負担願いたいこと。
- ② 懇親会の会費については、先端技術セミナーの講師をお引き受けいただいた教員についても負担いただきたいこと。
- ③ 出欠について、回答の無い研究室があるので、至急、研究協力係に回答願いたいこと。

引き続き、展示 WG 主査から、パネル展示に関連して、次の報告及び依頼があった。

- ④ パネル展示の時間については 12:30~18:30 となっており、実行委員は 11:00 には会場に待機しているので、12:00 頃までには準備を終了してほしいこと。

撤去については 18:30 としているが、入場者の状況により 18:00 頃から行うように考えていること。

- ⑤ パネル展示用機材の運搬については、前日に会場に到着するよう運送業者に依頼しているので、梱包は各研究室で責任を持って行い、後日通知する集荷場所・時間までに運搬願いたいこと。また、撤去作業についても同様に各研究室で梱包し、指定する集荷場所まで運んでほしいこと。
- ⑥ パネル展示担当者については、12:30~18:30 まで会場に張り付けになるので、昼食については事前に自分で準備してほしいこと。

### 3. その他

- (1) 議長から配付資料に基づき、職員の受賞について紹介があった。
- (2) 議長から配付資料に基づき、受託研究員の受け入れについて報告があった。
- (3) 議長から、フランス国国立科学研究所固体材料ナノサイエンス研究センターとの学術交流協定について、ナノヘテロプロセス研究部教授が中心となり、配付資料のとおり 10 月 24 日に締結した旨の報告があった。

## II. 協議事項

### 1. 教員の割愛について

議長から、生体電磁情報研究分野助手に対し、平成 18 年 4 月 1 日付けで学校法人東北学院大学工学部助教授として就任の割愛依頼のあった件について説明があり、承認した。

### 2. 委員会等委員の選出について

議長から、配付資料に基づき下記委員会委員について提案があり、承認した。

原子科学安全専門委員会 放射線取扱主任者専門部会

### 3. 部局評価（研究等）について

副所長（研究企画担当）から、配付資料に基づき説明があった後、種々審議した結果、「国際的トップレベル」を裏付けるためにはデータで示すのが良いとの意見が提出され、3 年ほど前に社会連携評価のために行ったアンケートを基に、これをバージョンアップし、裏付データとすることとした。このデータについては、外部からアクセスできる客観的データであることが重要であること。また、文章表現について、同じ文言を繰り返し使っているのが活性化していない印象を受けるので、違う表現をしたほうが良いとの意見があった。

なお、部局自己評価報告書の提出期限は、11 月 18 日（金）であるので、意見がある場合は 11 月 14 日（月）10:00 までに副所長（研究企画担当）若しくは所長補佐まで連絡願いたいことの依頼があった。

### 4. その他

#### (1) 平成 18 年度入試の監督者割当てについて

議長から、平成 18 年度入試の監督者割当てについて、配付資料に基づき説明及び提案があり、承認した。

## III. その他

### 1. 第 21 回運営協議会について

議長から、10 月 25 日（火）13:30 からナノ・スピン総合研究棟 5 階大会議室で開催した第 21 回運営協議会について、無事終了した旨の報告及び関係各位に対するお礼があった。

### 2. マルチフェースウェア構想について

議長から、マルチフェースウェア構想について、運営協議会での意見を参考に一部バージョンアップしたものを、11 月 7 日（月）に文部科学省を訪問し相談したこと。その際に、具体的ロードマップはどうするか等、いくつかの課題を与えられたので、研究企画戦略室を中心に検討し、年明けにもう一度説明に向くこととした旨の報告があった。

### 3. 部局外部評価について

議長から、通研では過去において外部評価を 3 回実施しており、下記の方法が確立しているが、平成 18 年度も同様に実施する旨の発言があった。外部評価報告書については、運営協議会実施前に作成する方針であり、夏休み前には外部評価委員会を実施したいので、各研究分野には外部評価委員の候補者推

薦について、後日メールで依頼するので協力願いたいこと。

- ① 研究分野別評価については、各分野それぞれ 3 名の外部評価委員（外国も含む。）による書面評価を行う。
- ② 通研全体の評価については、部門グループ別に 2 名の外部評価委員を選出し、2 日間に亘り上記①による書面評価に加え、インタビュー及び見学等を含めた評価を行う。

#### 4. 自転車等の盗難事件について

経理課長から、10 月 19 日から 22 日にかけて、本研究所駐輪場（1 号館南側、ナノ・スピン棟西側）から施錠していた学生の原付バイク・自転車の盗難が相次いで発生し、犯人の特定に至っていないことの報告があった。また、今後も所内管理事情を知った人間が盗難等を起こす可能性もあり、本研究所としては防犯ライトの設置等検討しているが、個人の管理に頼る部分が大いなので、ロックの厳重化、夜間・早朝の駐輪を避ける等、自己防衛を徹底してほしいこと及び、研究室の学生等に対しても注意喚起してほしいことの依頼があった。

#### 5. 1 号館 N 棟 1 階トイレ全面改修について

経理課長から、11 月 2 日付けで文書により通知しているとおおり、11 月 7 日（月）から 11 月 30 日（水）の間に 1 号館 N 棟 1 階トイレの全面改修を行うので、協力願いたいとの依頼があった。

#### 6. 新任の教授が増えたこともあり懇親を深めるために、教授会懇親会を復活させてほしいとの意見があり、議長から、幹事を指名することとした。